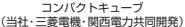
「コンパクトキューブ」が日本冷凍空調学会賞 技術賞を受賞

当社エネルギー応用研究所が、三菱電機(株)、関西電 カ(株)と共同で開発した空冷式ヒートポンプチラー「コ ンパクトキューブ」が、平成20年度省エネ大賞受賞に引 き続き、平成21年度日本冷凍空調学会賞(技術賞)を受 賞しました。

「コンパクトキューブ」は、ビル・工場向け冷房用冷水、 暖房用温水を効率よく製造する機器で、高性能熱交換器 やインバータ駆動圧縮機の最適制御などの省エネ技術 の採用により、大幅な省エネルギー・CO2排出量の削減 を実現しました。また、機器を大幅にコンパクト化(設置 面積約20%削減:従来機比)しており、リニューアル需 要にも容易に対応可能です。

なお、「コンパクトキューブ」の販売は平成20年4月 より三菱電機(株)が行っています。







片倉冷凍空調学会会長(写真左)から 賞を戴く中山研究副主査(写真中央)

空気調和・衛生工学会賞 技術賞を受賞

本店法人営業部ソリューションGとエネルギー応用研 究所が、システムの検証に携わった「熱源トータル最適 制御コントローラの開発と導入事例 | が、第48回空気調 和・衛生工学会賞(技術賞)を受賞しました。

「熱源トータル最適制御コントローラ」は、ビル・工場 用の熱源システム(冷温水機、ポンプ、冷却塔など)が常 にシステム全体で最も効率の高い運転をするよう制御 するものです。

半導体製造工場の熱源制御への導入事例では、従来の ガスを利用した地域冷暖房システムに比較してCO2排 出量は約77%削減の効果が見られました。

なお、「熱源トータル最適制御コントローラ」の販売 は東洋熱工業(株)が行っています。



検証に携わった肥田課長(本店法人営業部:当時)、 櫻場チームリーダー、中山研究副主査(左より)

長研究副主査が日本ファインセラミックス協会賞「技術振興賞」を受賞

エネルギー応用研究所都市・産業技術グループ産業工 ネルギーチームの長研究副主査が、平成20年10月に発 表した[高温過熱水蒸気発生システム]の中核技術であ る「ガラス被覆カーボンIHヒータ」の開発により、平成 21年度日本ファインセラミックス協会賞「技術振興賞」 を受賞されました。同賞は、(社)日本ファインセラミッ クス協会が、ファインセラミックス産業の振興・発展に 貢献した技術開発に対し、その開発企業・団体を賞揚す るものです。今回、カーボン基板を特殊雰囲気下でガラ スコーティングすることで、両立が困難と考えられてき た高温水蒸気に対する耐酸化性と、急激な温度変化にお いても割れない耐熱衝撃性を併せ持たせる技術が評価

され、共同開発先である(財)ファインセラミックスセン ターおよび(株)大同と連名での受賞となりました。



受賞された長研究副主査